

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月30日

北九州市長 様

提出者

住所 北九州市小倉南区高野4丁目17-3

氏名 誠和興業
代表者 鴨崎美佐子

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 093-453-1286

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	誠和興業 各工事現場
事業場の所在地	福岡県一円
事業の種類	建設業(職別工事業)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

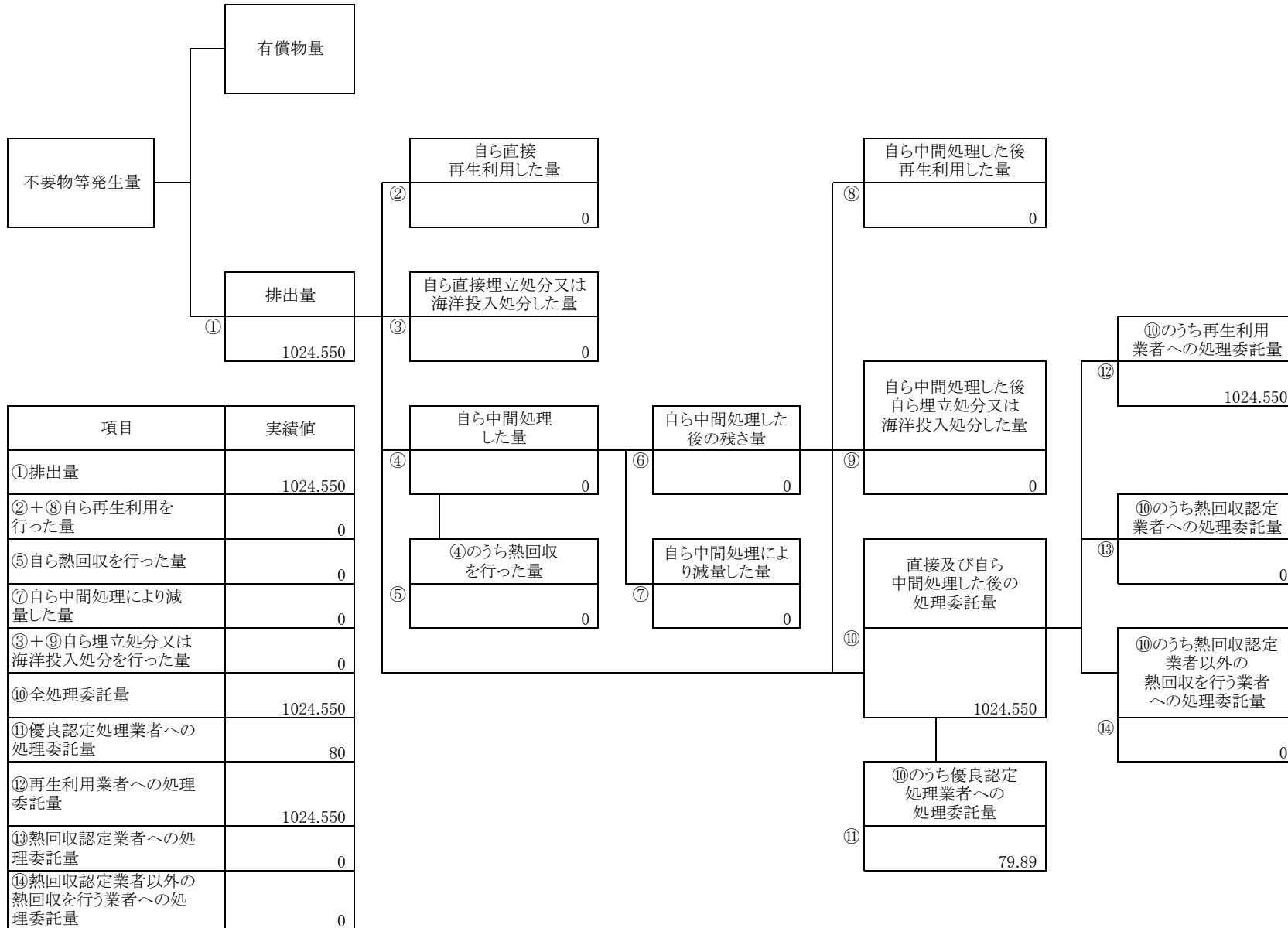
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3000t	全処理委託量	2950t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	50t	優良認定処理業者への処理委託量	50t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	2900t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

※事務処理欄

計画の実施状況

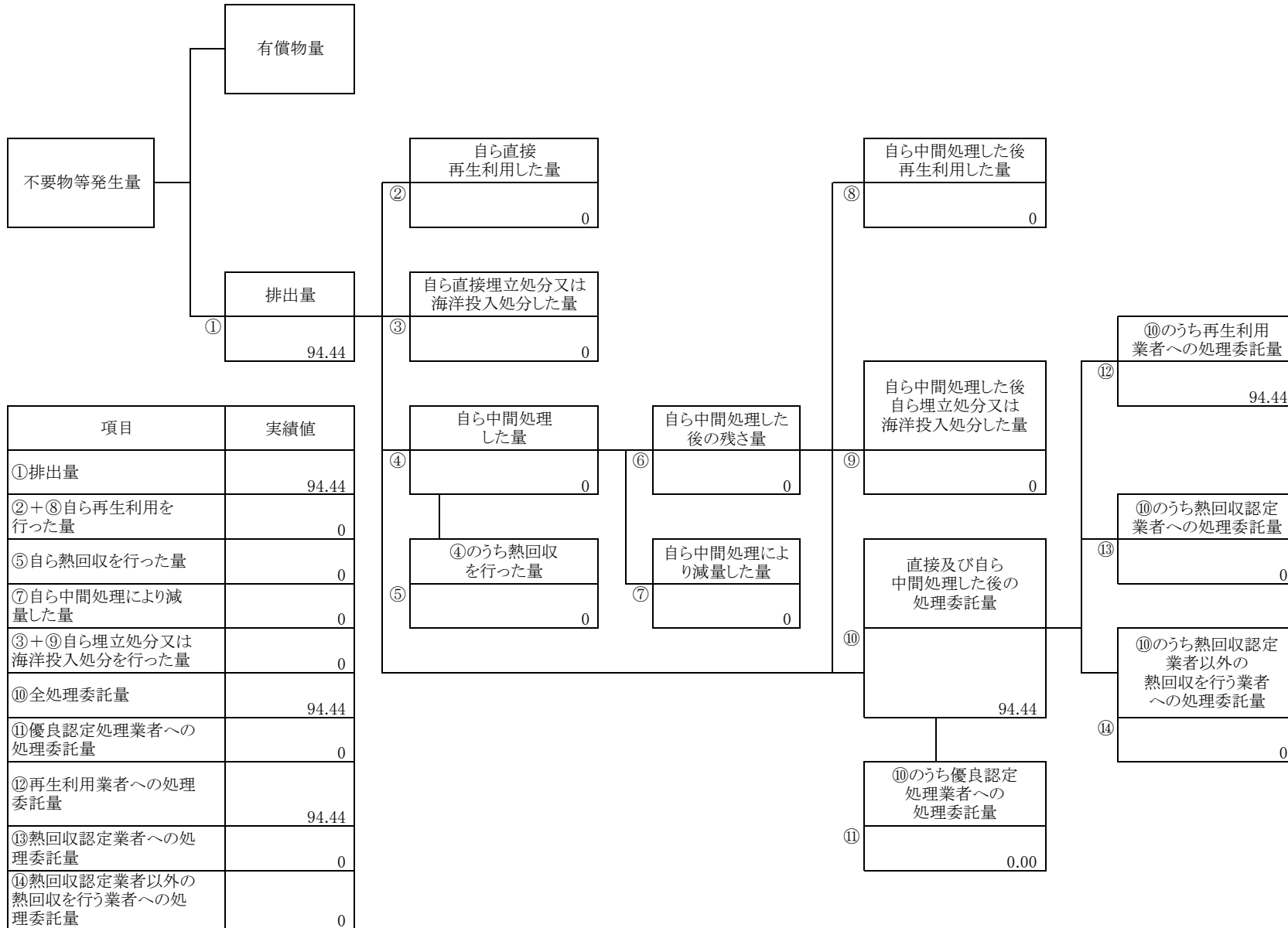
(産業廃棄物の種類: がれき類)



項目	実績値
①排出量	1024.550
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1024.550
⑪優良認定処理業者への処理委託量	80
⑫再生利用業者への処理委託量	1024.550
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

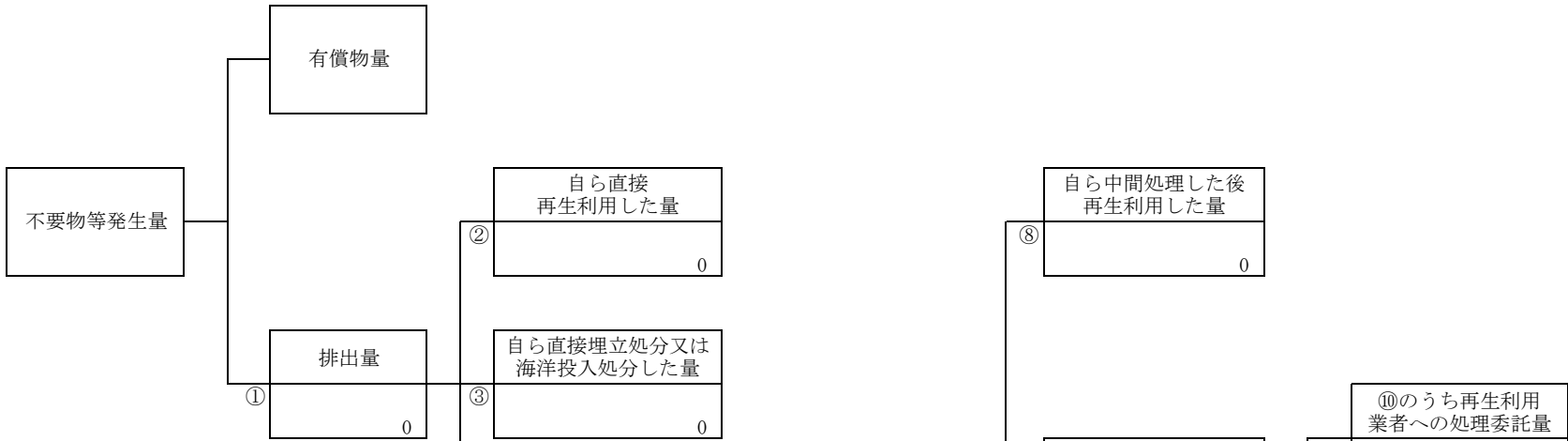
(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	94.44
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	94.44
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	94.44
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

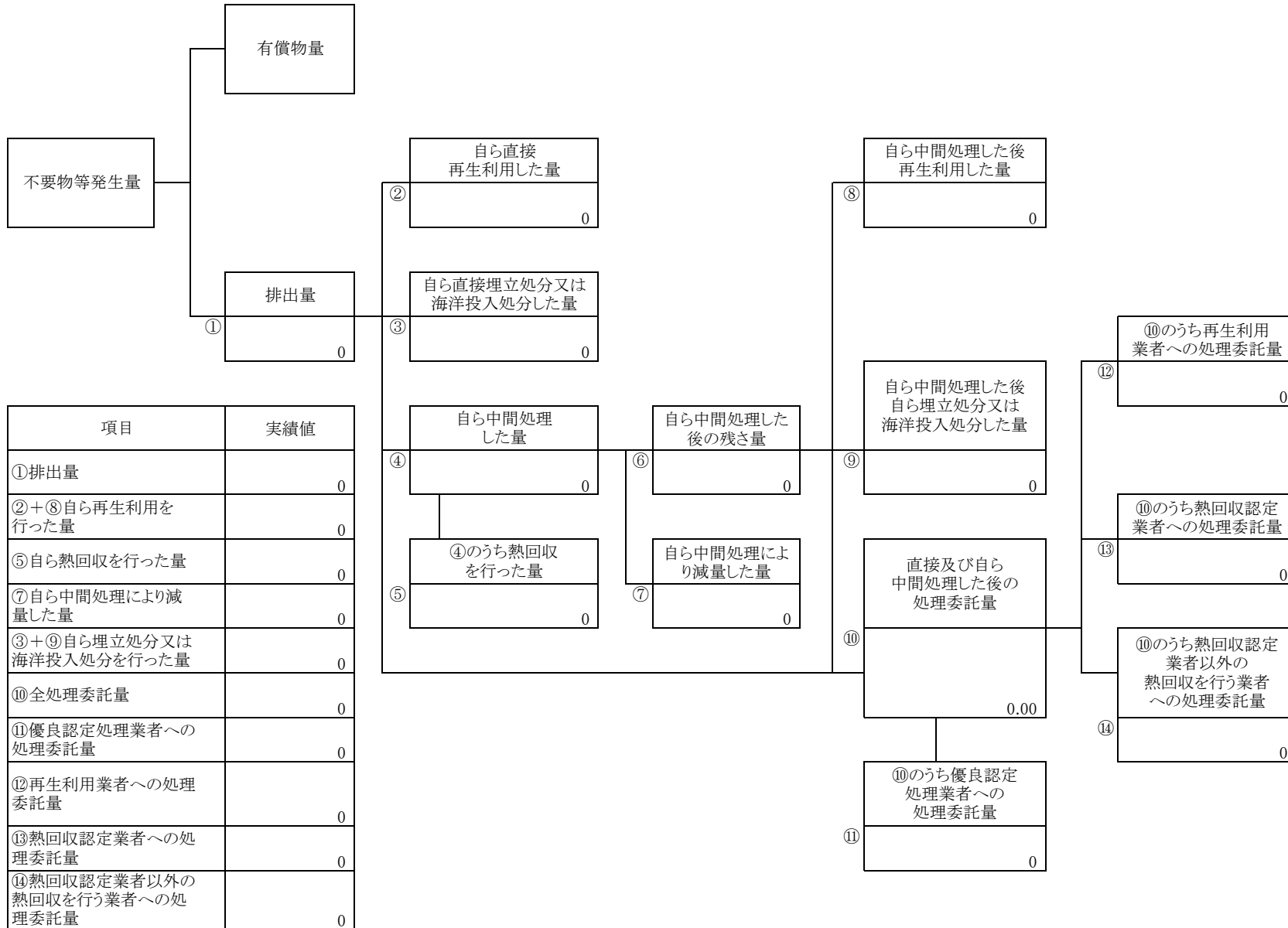
(産業廃棄物の種類: 金属くず)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

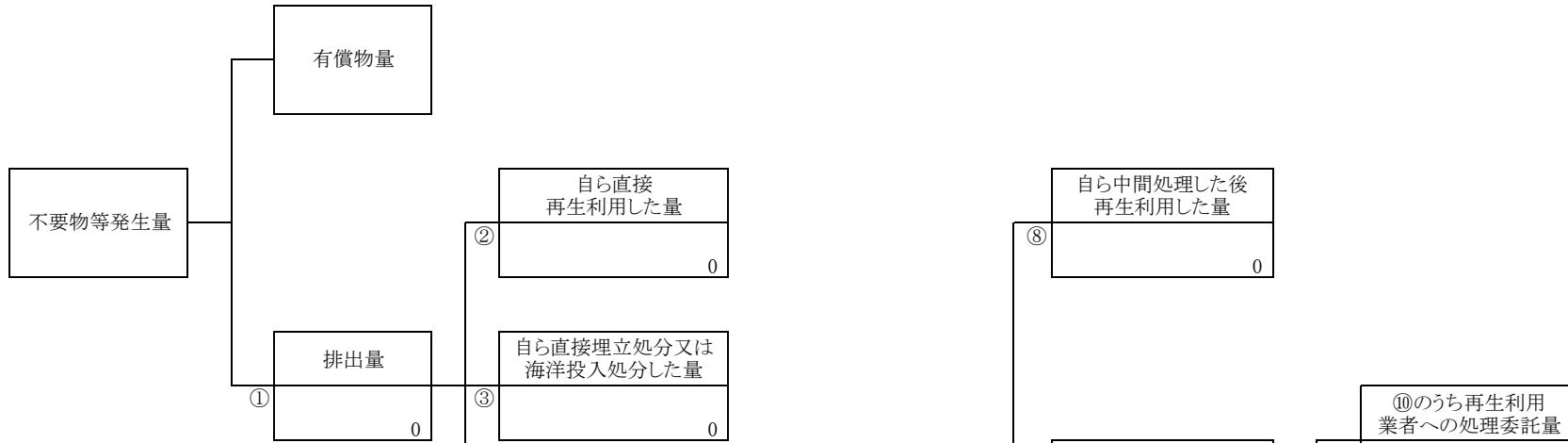
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



計画の実施状況

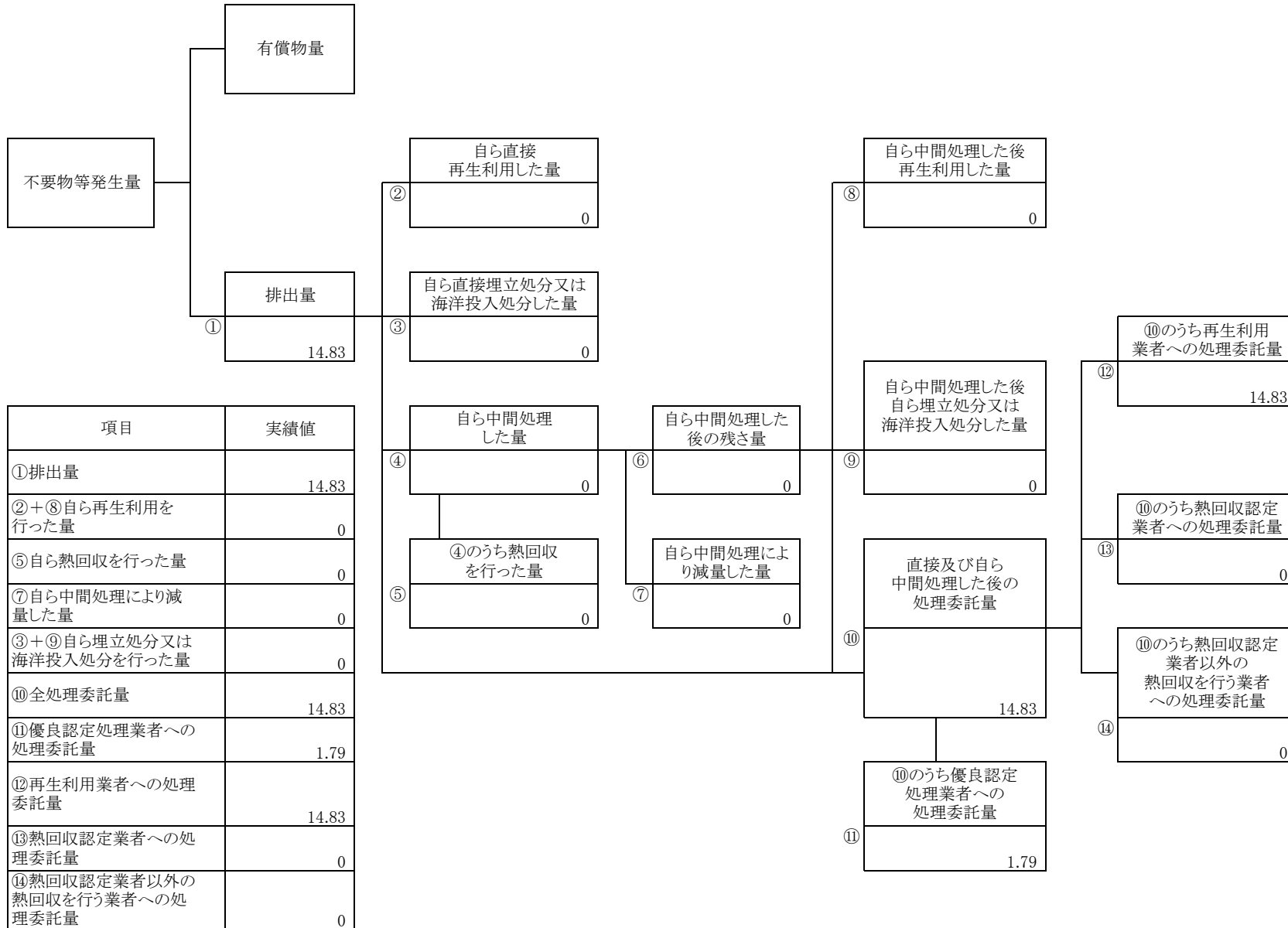
(産業廃棄物の種類: 紙くず)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

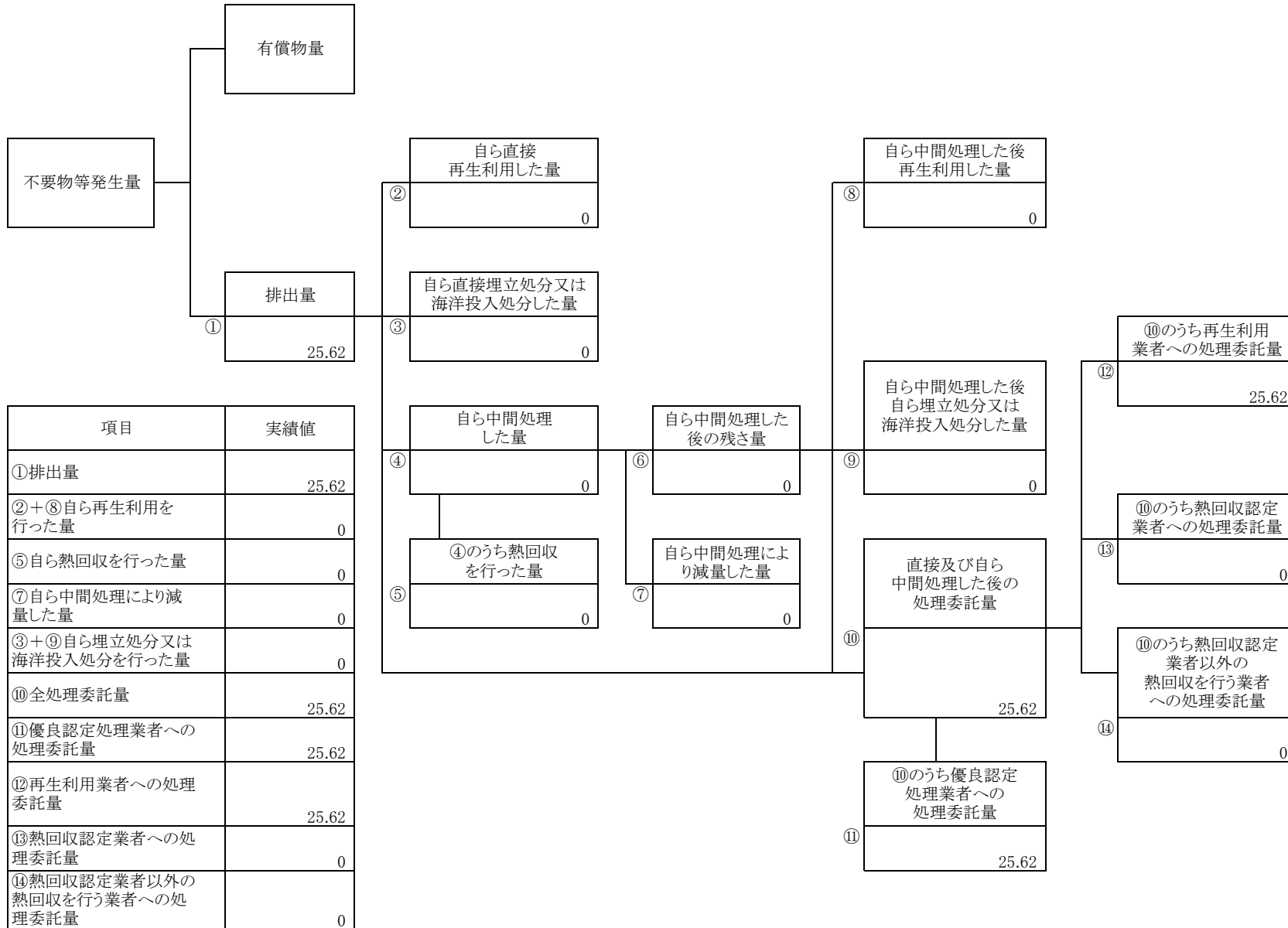
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



項目	実績値
①排出量	14.83
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	14.83
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.79
⑫再生利用業者への処理委託量	14.83
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

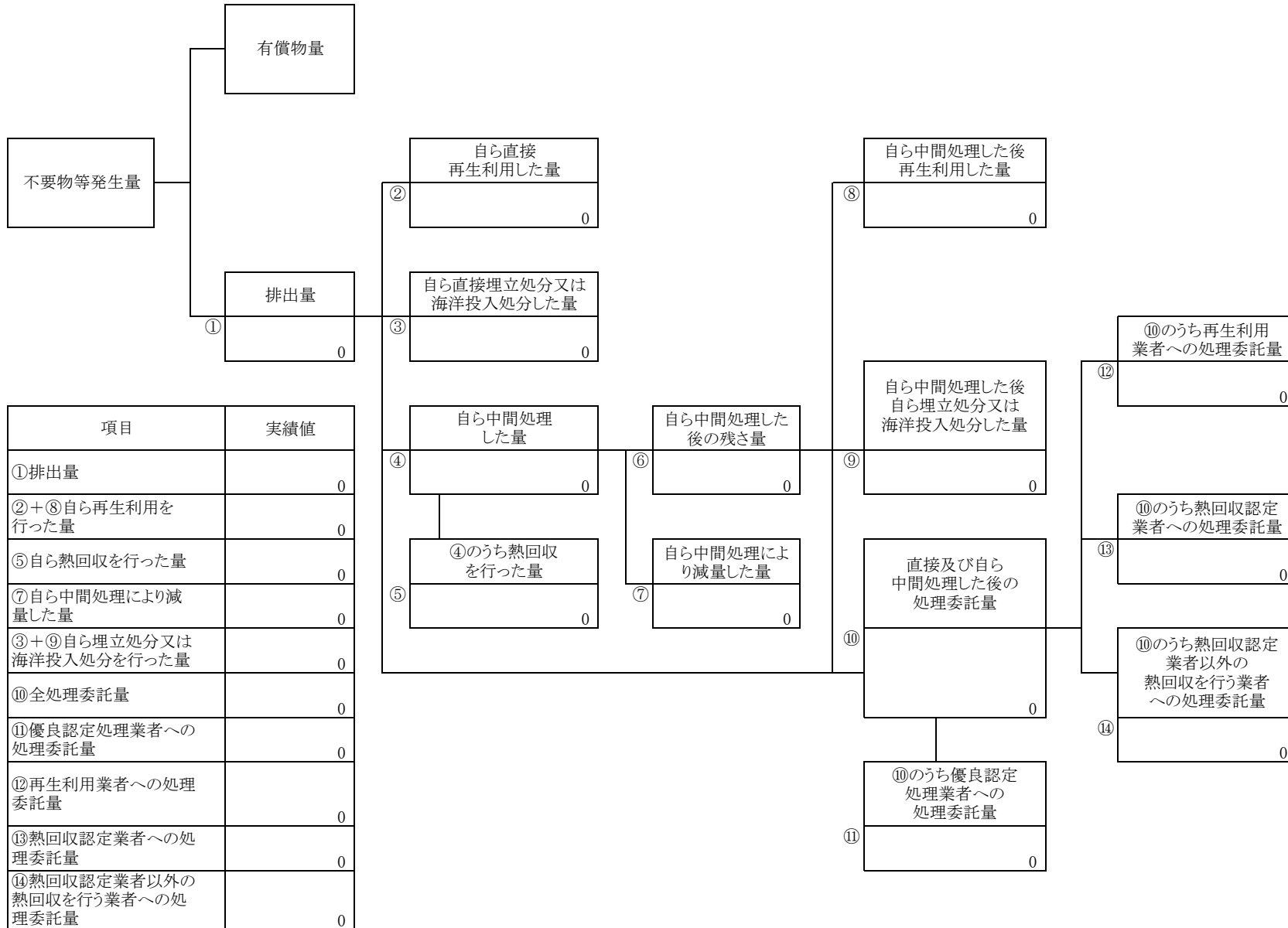
(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	25.62
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	25.62
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.62
⑫再生利用業者への処理委託量	25.62
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

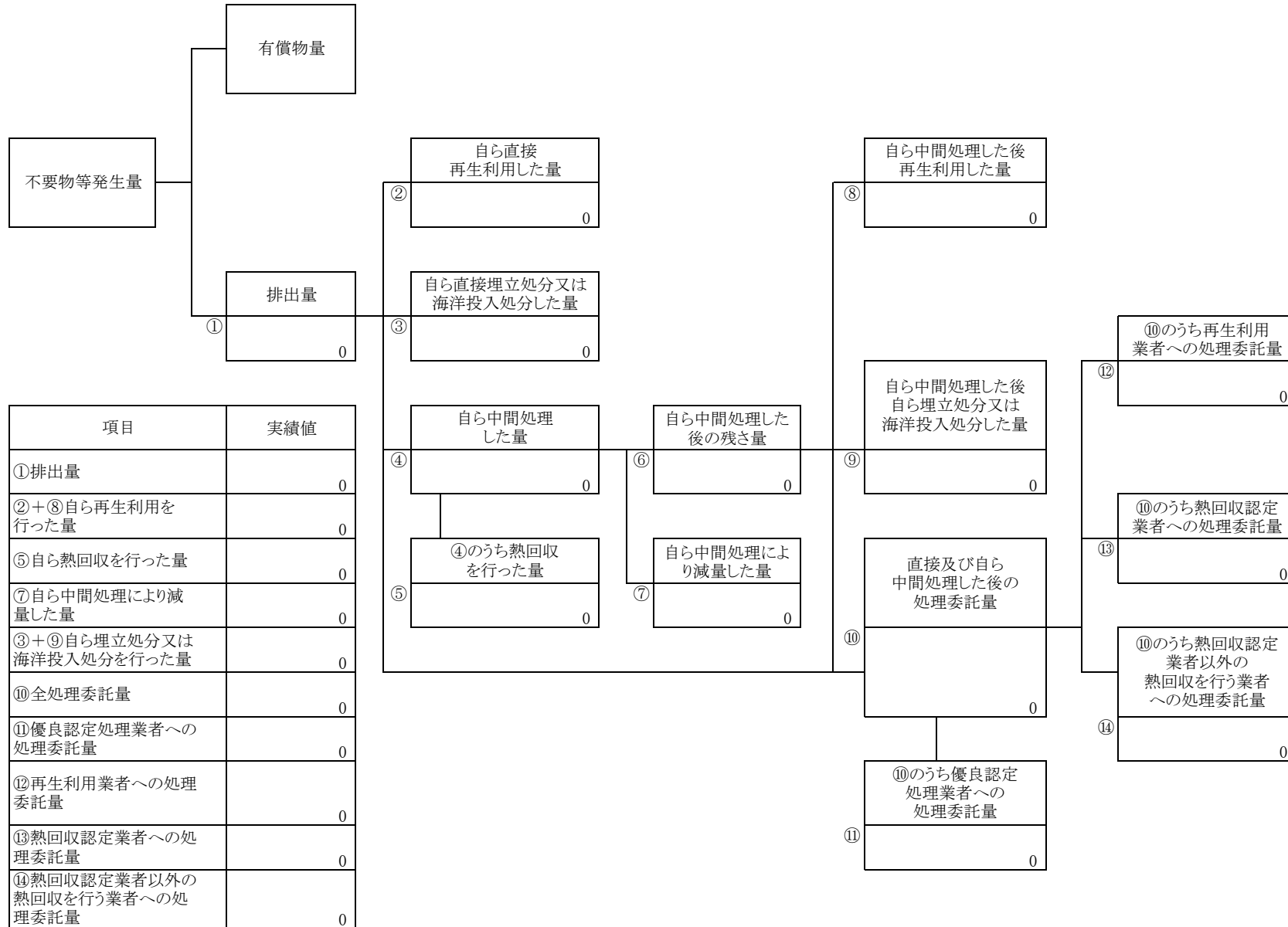
(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

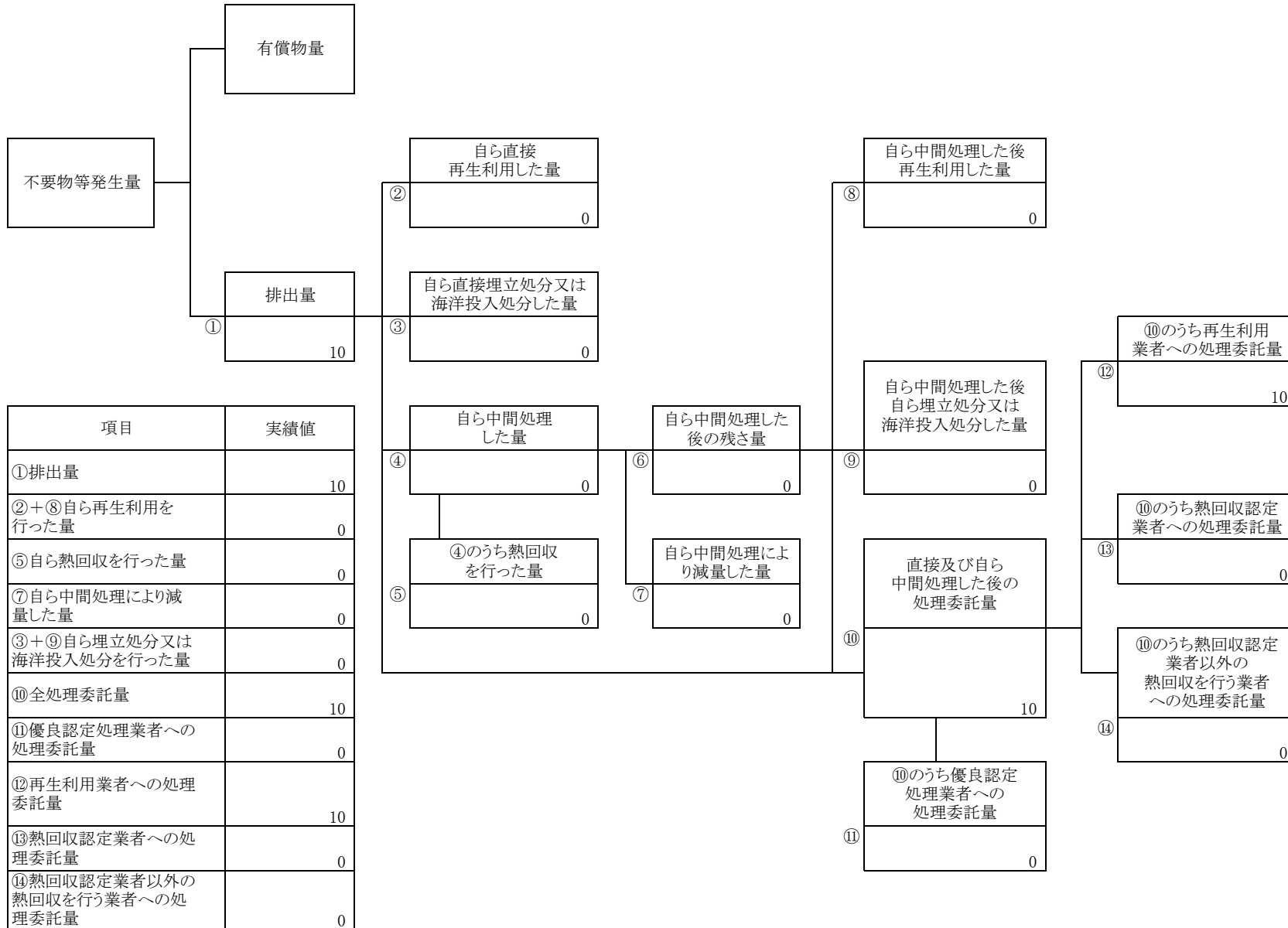
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 蛍光管)



計画の実施状況

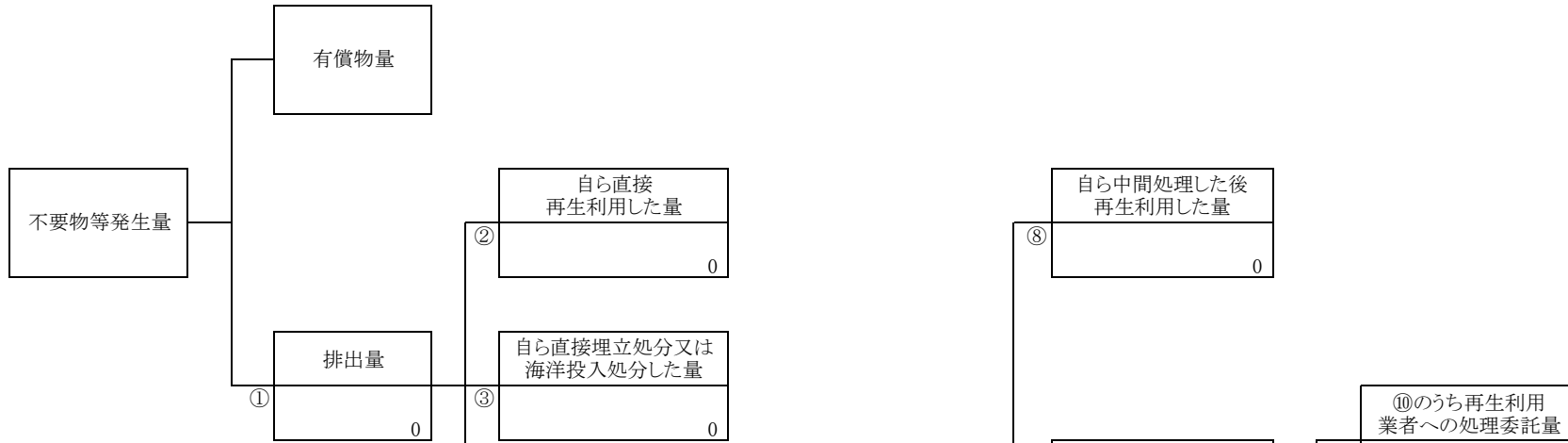
(産業廃棄物の種類: 石綿含有建材)



項目	実績値
①排出量	10
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

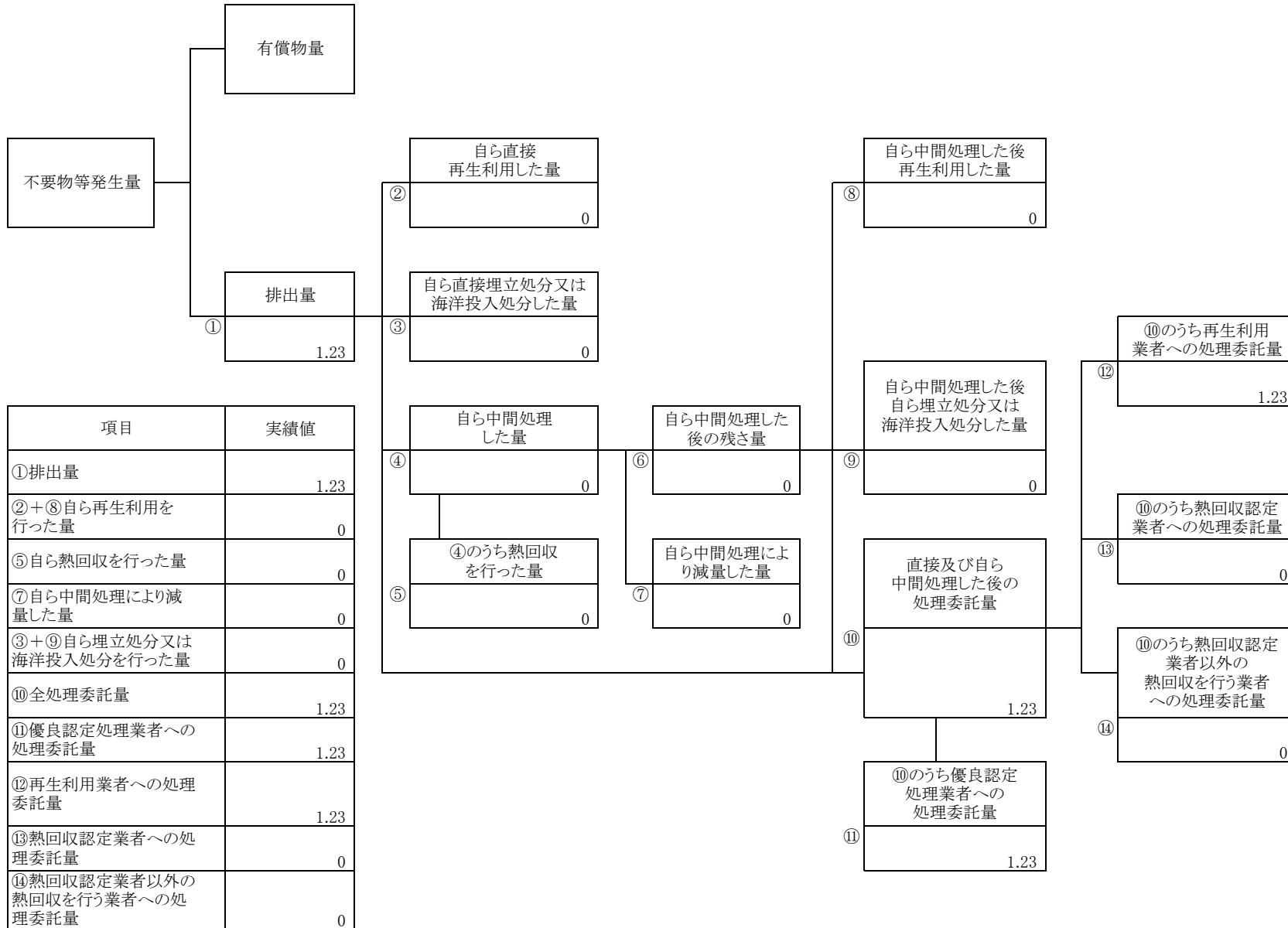
(産業廃棄物の種類: 石綿)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



項目	実績値
①排出量	1.23
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.23
⑫再生利用業者への処理委託量	1.23
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
北九州市小倉南区高野4丁目17-3	誠和興業	代表者	福崎英佐子	093-453-1286	093-453-1287	shinwa@shinwa.co.jp

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況											委託先による区分			①優良認定処理業者への処理委託量(t)	②+⑧ 自ら再生利用を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	
	コード	名称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量(t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した 量(t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理した 後埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量(t)	委託先による区分					
													⑫再生利用者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)				⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	⑥の量のうち、再生利用委託量(⑫、⑬除く)	⑥の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑥の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑮～⑱を除く)	⑥の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑥の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑨の量を合計したもの(自動計算)				
1	1500	がれき類	1,024.550	0	0	0	0	0	0	0	1,024.550	1,024.550	0	0	0	79.89	0	0
2	0800	木くず	94.44	0	0	0	0	0	0	0	94.44	94.44	0	0	0	0	0	0
3	1200	金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0800	繊維くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0700	紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0800	廃プラスチック	14.83	0	0	0	0	0	0	0	14.83	14.83	0	0	0	0	1.79	0
7	1310	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	25.62	0	0	0	0	0	0	0	25.62	25.62	0	0	0	0	25.62	0
8	2000	混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	2522	蛍光管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	石綿含有建材	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0
11	7421	石綿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0300	廃油	1.23	0	0	0	0	0	0	0	1.23	1.23	0	0	0	0	1.23	0
13	⑮																	0
14	⑯																	0
15	⑰																	0
16	⑱																	0
17	⑲																	0
18	⑳																	0
19																		0
20																		0
合計			1,170.7	0	0	0	0	0	0	0	1,170.7	1,170.7	0	0	0	109	0	0

(注1)トンは未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 30日

北九州市長

武内和久 殿

提出者

住 所 北九州市小倉南区高野4丁目17番3号

氏 名 誠和興業 代表者 鴨崎美佐子

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 093-453-1286

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

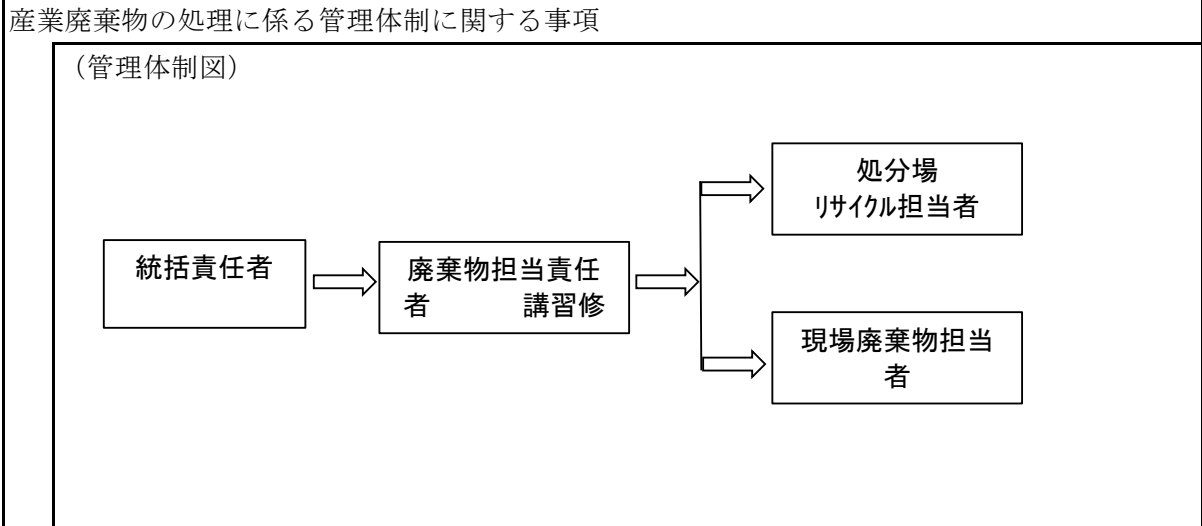
事業場の名称	誠和興業
事業場の所在地	北九州市小倉南区高野4丁目17番3号
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業（識別工事業）
② 事業の規模	前年工事高 6301万円
③ 従業員数	4名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	次項

（日本工業規格 A列4番）

<p>④産業廃棄物の 一連の処理の工程</p>	<p>工事に伴い発生する産業廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がれき類(コンクリート塊) ⇒再生処理業者に委託して再生砕石として再利用する。 ・がれき類(アスファルト塊) ⇒再生処理業者に委託して再生合材として再利用する。 ・木くず ⇒再利用可能な木屑は再生処理業者に委託し合材用及び燃料用として再利用、再利用不可なものは焼却施設へ持ち込む。 ・金属くず ⇒有価物として売却する。付着物があり現状では売却不可能な物に対しては可能な限り付着物を除去し売却できるよう努める。 ・繊維くず ⇒再資源化センター等に持ち込む、持ち込み不可の物に対しては焼却施設へ持ち込む。 ・紙くず ⇒再資源化センター等に持ち込む、持ち込み不可の物に対しては焼却施設へ持ち込む。 ・廃プラスチック ⇒中間処理業者に持ち込む。 再利用可能な廃プラは売却・再生委託する。 再利用不可な物は埋立処分場へ処理委託する。 ・ガラス屑(石膏ボード等) ⇒中間処理施設に持ち込む。 再生利用可能なガラス屑は、セメント原料、土壌改良剤等として再生委託する。 再生利用不可の物は、管理型埋立処分場に処理委託する。 ・ガラス屑(陶磁器くず・レガ等) ⇒埋立処分場へ処理委託する。 ・蛍光管 ⇒再生処理業者に委託する。 ・がれき類(石綿含有建材) ⇒埋立処分場へ処理委託する。 ・廃石綿 ⇒管理型埋立処分場へ処理委託する。
-----------------------------	--



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排 出 量		t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 既存の構築物などの解体業務であるため、廃棄物の抑制は不可能である		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業所において廃棄物の選別を励行している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、廃棄物の種類別に選別を行うことを徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再利用可能なものがあれば利用するように努める		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 再生利用できるものは再生処理業者に持ち込んだ。			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>①これまでどうり再生資源化施設への持ち込みを励行するとともに、再資源化施設のを情報の収集に努め、最終処分場への処理委託を抑制する。</p> <p>②作業場の場所や工事の内容にも依るが、極力優良認定業者への処理委託を行う。</p>		
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元

完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ

事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する

までの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

請
じ
ま
と。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

中
間

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

量
行
収
あ
へ

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

と
の
入

- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	繊維くず	紙くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	蛍光管	石綿含有	石綿	廃油
現状(前年度実績)	1024.55 t	94.44 t	0 t	0 t	0 t	14.83 t	25.62 t	0 t	0 t	10 t	0 t	1.23 t
計画(目標)	2500 t	100 t	0 t	5 t	5 t	20 t	30 t	5 t	0.05 t	25 t	5 t	1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	繊維くず	紙くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	蛍光管	石綿含有	石綿	廃油
現状(前年度実績)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画(目標)	10 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	繊維くず	紙くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	蛍光管	石綿含有	石綿	廃油
現状(前年度実績)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画(目標)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	繊維くず	紙くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	蛍光管	石綿含有	石綿	廃油
現状(前年度実績)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画(目標)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類		がれき類	木くず	金属くず	繊維くず	紙くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	蛍光管	石綿含有	石綿	廃油
現状 (前年度実績)	全量処理委託量	1024.55 t	94.44 t	0 t	0 t	0 t	14.83	25.62 t	0 t	0 t	10 t	0 t	1.23 t
	優良認定処理業への処理委託量	79.89 t	4.51 t	0 t	0 t	0 t	1.79	25.62 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1.23 t
	再生利用業者への処理委託量	1024.55 t	94.44 t	0 t	0 t	0 t	14.83	25.62 t	0 t	0 t	10 t	0 t	1.23 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画 (目標)	全量処理委託量	2500 t	100 t	0 t	5 t	5 t	20 t	30 t	5 t	0.05 t	25 t	5 t	1 t
	優良認定処理業への処理委託量	2000 t	50 t	0 t	0.5	0.5 t	2 t	30 t	0.5 t	0.05 t	25 t	5 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	2500 t	100 t	0 t	5 t	5 t	20 t	30 t	5 t	0.05 t	25 t	5 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t